

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ムーブメントプラス吉野		
○保護者評価実施期間	令和6年11月1日		～ 令和7年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	令和6年12月1日		～ 令和7年12月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○訪問先施設評価実施期間	令和6年11月11日		～ 令和7年1月31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年1月31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所の状況説明や家庭での聞き取りの内容をふまえ、先生方と親身に児童について向き合う姿勢がある。	事前に先生方と連絡を密に取り合い、保護者のニーズと齟齬が無いように気を付けている。	先生方に信用してもらえるよう、年度初めになるべくうかがえるようなスケジュール管理と適切なアドバイスが出来るように事業所で訪問前に十分なディスカッションを行っている。
2	理学療法士が3名在籍しており、身体機能に関することに対して適切なアドバイスができる点。 また、経験豊富な指導指導員も在籍しており、乗除面でのアドバイスや支援も網羅できており、バランスの良い事業所である事	先生方の困り事を真摯に聞き、適切なアドバイスが出来るようにしている。多職種連携で訪問支援員と理学療法士、児発管など様々な角度から児童を観察できる体制を取っている。	それぞれが専門分野の知識や技術をさらに身につける。 また、適切な資格などあればその補助を行い、積極的取得を支援する。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	特に小学校において保育所等訪問支援の内容がうまく伝わっておらず、なかなか適切な時期にアポイントをとることができない。	・小学校においてどうしても手間がかかると思われている可能性がある。 ・適切なアドバイスなどができず、必要性を感じてもらえない。	・保護者始動での事業であることを根気よく説明を行う。 ・来てよかったと先生方に思ってもらえるような適切な姿勢と助言などが出来るよう児童に関する理解を高めていく。
2	保育所等訪問支援の時間が決まっており、対象の時間でなかなか適切な活動を訪問出来ない。	事業所自体の運営時間の問題が大きい。	適切な運営時間となるように調整をしていく。 運営規定などの再整備。
3			